

四国ラグビースクール協議会レポート

四国のほぼ中心に位置する高知県土佐町、この地で例年8月の第1土・日曜日に、四国ラグビースクール連絡会が開催されており、今年は8月6日・7日の開催となりました。

参加者は四国全県から12チームの指導者・選手(小学生)約200名、小学生は各学年に分かれて、合同練習や交流戦を行ったり、近くの川で泳いだり、夜は土佐町で開催されている「やまびこカーニバル2011」イベントの花火鑑賞をしたりと、盛りだくさんのスケジュールに参加し、夏休みの思い出をたくさん作ってくれたことでしょう。

一方、指導者は総会が開催され、各スクールの1年間の活動報告や会員数の動向などを交えての情報交換や、第23回四国大会の打ち合わせをはじめ今年度事業の確認などの後に、勉強会として昨年度開催された「関西協会ラグビースクールプロモーション講習会」の報告や、先日開催された「淡路島ミニラグビージャンボリー大会」のアンケート調査などをもちに今後のラグビースクールの活性化に向けた有効な施策を模索し活発な意見交換がなされました。

100名を超す大所帯のスクールもあれば、11名というスクールもあるなかで、8000枚のリーフレットを配布し3名の新会員加入に成功したスクール。口コミを大切に保護者との関係強化をはかって会員数を増やすことができたスクール。また四国の競技レベルを何とか向上させようと、週2回の練習に励んでいるスクール。それぞれの状況に応じて努力しておられる現場の方の姿勢には本当に頭が下がります。

その中で非常に明るい兆しは、中学生の会員数が増えてきていることです、なかには中学校の選択授業に週1回学校へ出向き指導されている方もおられます。

翌日も勉強会は続きます。実技講習として交流会のゲームを観察し、受講者が勝っているチームと負けているチームをそれぞれ受け持ち、課題を抽出し、ハーフタイムで子どもたちにアドバイスを行い、それがどのように後半のゲームで修正されたか、あるいは反映されたかを検証することでゲーム観察力を養い、またプレゼンテーション能力の向上をはかりました。

2日間、非常に充実した内容で、皆さん真剣かつ真摯に取り組まれ、有意義な勉強会であったと思います、また毎年開催されていることもあるでしょうが『四国は一つ』という意識で各スクールの指導者の方が大変仲が良く、アットホームな雰囲気で開催されたことにも驚きました、こういった地道な努力はかならず将来何らかの形で花開くことでしょう、四国のスクールの今後の発展を期待したいと思います。

関西ラグビー協会普及育成委員会
副委員長 北畑 幸二

総会の様子



ゲームの観察



ハーフタイムのアドバイス



ハーフタイムのアドバイス

